

令和 8 年 4 月採用 公益財団法人愛知県国際交流協会  
正規職員（社会人経験者）募集要項

**1 採用予定人員**

1 名

**2 勤務地**

公益財団法人愛知県国際交流協会（以下、「協会」という。）

名古屋市中区三の丸 2－6－1 愛知県三の丸庁舎内

**3 応募資格**

（１）年齢等（次のいずれかに該当する人）

昭和 39 年 4 月 2 日以降から平成 8 年 4 月 1 日までに生まれた人（学歴は問いません。）

（２）次のいずれにも該当しない人

ア 成年被後見人又は被保佐人（準禁治産者を含む。）

イ 禁固以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又はその執行を受けることがなくなるまでの人

ウ 日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した人

（３）次のア～オのいずれにも該当する人

ア 国際交流や地域の国際化に対する興味と意欲があること。

イ 他の職員と協力しながら組織の一員として業務を行う協調性があること。

ウ 心身共に健康であること。

エ 勤務地に通勤が可能であること。

オ パソコン（ワード、エクセル等）が操作できること。

（４）国籍は問わないが、外国籍の応募者は就労制限のない在留資格であること、及び日本語能力試験 N1 級を所持していること。

（５）令和 7 年 1 月 30 日現在で国際交流・多文化共生に関する職務経験を常勤で 3 年以上有する人

※「常勤」とは、フルタイムの正規社員又は当該事業所におけるフルタイムの正規社員と週当たりの勤務時間が同じ勤務形態で就業していることをいう。

※職務経験が複数の場合は通算することができる。ただし、同一期間内に複数の職務に従事した場合は、いずれか一方のみの職務経験に限る。

**4 業務内容**

協会における事務局運営事務、協会が実施する国際交流・国際協力、多文化共生の地域づくりに関する事業の企画・実施およびそれに伴う業務

**5 身分**

協会の正規職員。原則として、雇用保険法、健康保険法及び厚生年金保険法の被保険者とする。

**6 採用時期**

令和 8 年 4 月 1 日

**7 勤務日・時間**

毎週月曜日から土曜日までの間の 5 日間

（ローテーション勤務で、勤務日・週休日は 4 週間ごとに指定された日となる。）

勤務時間は 4 週間につき 1 週間あたり 38 時間 45 分で、1 日 7 時間 45 分とし、

8：45～17：30 又は 9：30～18：15 の中で勤務時間・休憩時間を指定する。

また、金曜日については遅番勤務（12：15～21：00）の日がローテーションであり、

遅番勤務の日はその時間内で勤務時間・休憩時間を指定する。  
なお、協会主催行事等で日曜日出勤の場合がある。(代休制度あり)

## 8 給与

月額約30万円前後で学歴・職歴等の期間等に応じて決定する。  
また、通勤手当、住居手当、扶養手当、期末・勤勉手当等を別に支給する。

## 9 応募方法

### (1) 応募手続

下記応募先に以下のア～ウを持参、または簡易書留郵便で送付すること。

- ア 申込書(別添様式)。自筆・日本語で記入し、写真を貼付すること。
- イ 返送先の住所、氏名を明記し、110円切手を貼付した返信用封筒(長3サイズ)  
※返信用封筒のあて先面には手を加えず返送するので注意すること。
- ウ 在留カードのコピー(外国人の場合のみ)

### (2) 応募先

〒460-0001

名古屋市中区三の丸2-6-1 愛知県三の丸庁舎内

公益財団法人愛知県国際交流協会 総務企画課 採用試験係

### (3) 受付期間

令和8年1月9日(金)午後5時まで(郵送の場合は必着のこと)

## 10 第1次選考

### (1) 選考方法

提出された申込書による。

### (2) 結果通知

令和8年1月16日(金)発送(予定)にて、応募者全員に可否を連絡する。

## 11 第2次選考

### (1) 日時及び会場

令和8年2月2日(月)を予定(※時間等は第1次選考合格者に通知する。)

あいち国際プラザ(名古屋市中区三の丸2-6-1 愛知県三の丸庁舎内)

### (2) 選考方法

論文試験及び面接試験

論文試験は、職員として必要な思考力、表現力、知識等を見るため、一定の課題による筆記試験を行う。

### (3) 結果通知

令和8年2月10日(火)郵送(予定)にて、第2次選考受験者全員に可否を連絡する。

※なお、外国人の場合は第2次選考時に日本語能力の確認を行う。

## 12 採用

(1) 第2次選考の合格者は、職務経験等の確認のため職歴証明書等を提出すること。健康診断及び最終意向確認を経て、正式採用となる。

(2) 採用日は、原則として令和8年4月1日とする。

## 13 その他

提出した書類や口述した内容に虚偽や不正があることが判明した場合は、合格又は採用を取り消す。

## 14 問合せ先

公益財団法人愛知県国際交流協会 総務企画課 採用試験係

電話：052-961-8744

### ＜申込書記入上の注意＞

- 1 記入は全て黒のペンまたはボールペンを使用し、応募者本人が、かい書でていねいに書くこと。数字は算用数字を使用すること。
- 2 「年齢」は令和8年（2026年）4月1日現在の満年齢を記入すること。
- 3 「在留資格」欄は外国人の場合のみ記入すること。
- 4 写真（6ヶ月以内に撮影された無帽かつ正面上半身、背景無し）は必ず添付すること。
- 5 「生年月日」、「在学期間」、「滞在期間」、「在職期間」等は、西暦で記入すること。
- 6 「現住所」は、寮、アパート等の場合はその名称、室番号まで記入すること。また、「現住所以外の連絡先」は、現住所に不在の場合に連絡が取れる所(勤務先等)を記入すること。
- 7 「学歴」、「職歴」欄が不足する場合は、最近のものを優先して記入すること。
- 8 「修学区分」欄は該当する方を○で囲むこと。
- 9 「海外滞在経験」欄には、日本国外に滞在した経験を期間の長いものから優先して記入すること。（観光などの短期滞在は記入不要）
- 10 「海外滞在経験」欄の滞在理由には、出生、留学、研修、就労、家族滞在などの理由を記入すること。
- 11・「職歴」欄には、職務経験として通算できる期間についてのみ記入し、無職の期間については記入しないこと。（職務経験3年以上を記載するために、欄が足りない場合は、別紙に記載の上、申込書に添付すること。）
  - ・「直近」欄に記入する勤務先に申込日時時点で在職中の場合でも、同欄の在職期間の終期は「令和7年11月30日」とし、令和7年11月30日までの月数に換算すること。
  - ・所在市町村には、本社の所在市町村ではなく、実際に勤務している所在市町村を記入すること。
  - ・在職期間を「○年○か月」に換算した結果、1か月未満の端数が出た場合、その端数となった日数は切り捨てること。
- 12 「国際交流・多文化共生に関する職務経験」欄には、「職歴」のうち、国際交流・多文化共生に関する職務経験について、勤務先、具体的な職務内容、通算期間などを記入すること。なお、勤務先に職務経験について確認する場合がある。
- 13 各種語学検定試験等（日本語能力試験を含む）の能力資格所持者は「免許・資格等」欄に必ず記入すること。
- 14 「上記言語能力を裏付ける特記事項」欄は、海外滞在経験、免許、資格、実績等言語能力を客観的に判断できる内容を記入すること。なお、すでに申込書に記入の内容（「学歴」、「海外滞在経験」、「職歴」、「免許・資格等」）のうち前述の内容のものを再掲しても可。
- 15 「国際交流・多文化共生の実務の中で、関係者の立場や意見の違いから調整が必要になった経験を一つ挙げ、その際あなたがどのように対応し、そこから何を学んだか」について、横書き 400 字以内で記入すること（自筆・日本語。ワープロ等不可）。

令和 8 年 4 月採用 公益財団法人愛知県国際交流協会  
正規職員（社会人経験者）採用試験 申込書

フリガナ			生年 月日 ・ 年齢	年      月      日生  歳
氏名				
国籍		在留資格 (外国人の場合のみ記入)		

現住所	〒      ー		
	電話番号 (      )      ー		
	携帯電話 (      )      ー		
通勤手段	(最寄駅・バス停 :      )	通勤時間	約      時間      分
現住所 以外の 連絡先	連絡先  電話番号 (      )      ー		

写真添付欄

(4cm×3cm)

学 歴	学校名（学部学科）	在学期間		修学区分 (○印)
		年   月～	年   月	卒業・見込
		年   月～	年   月	卒業・見込
		年   月～	年   月	卒業・見込
		年   月～	年   月	卒業・見込
		年   月～	年   月	卒業・見込

海 外 滞 在 経 験	国及び都市名	滞在期間		滞在理由等
		年   月～	年   月	
		年   月～	年   月	
		年   月～	年   月	
		年   月～	年   月	
		年   月～	年   月	

裏面に続く→

職 歴	勤務先名 (部課名まで記入)	職務内容※	所在 市町村	在職期間	換算 (〇年〇か月)
	直近			年 月 日から 年 月 日まで	年 か月
	その前			年 月 日から 年 月 日まで	年 か月
	その前			年 月 日から 年 月 日まで	年 か月
	その前			年 月 日から 年 月 日まで	年 か月
	その前			年 月 日から 年 月 日まで	年 か月
	その前			年 月 日から 年 月 日まで	年 か月
	その前			年 月 日から 年 月 日まで	年 か月
	その前			年 月 日から 年 月 日まで	年 か月
	その前			年 月 日から 年 月 日まで	年 か月
				在職期間合計	年 か月

※上記の職歴のうち、国際交流・多文化共生に関する職務について、勤務先、具体的な職務内容、在職及び通算期間などを下記の「国際交流・多文化共生に関する職務経験」欄に記入してください。

国際交流・ 多文化共生 に関する職 務経験	
--------------------------------	--

免 許 ・ 資 格 等	取得年月	免許・資格等の名称
	年 月	
	年 月	
	年 月	

日本語以外で堪能 な外国語	
上記言語能力を裏 付ける特記事項 (資格・実績等)	

その他 申告事項	
-------------	--

※ ＜申込書記入上の注意＞ 15を参照

「国際交流・多文化共生の実務の中で、関係者の立場や意見の違いから調整が必要になった経験を一つ挙げ、その際あなたがどのように対応し、そこから何を学んだか」について、横書き 400 字以内で記入すること（自筆・日本語。ワープロ等不可）。

[illegible]

(20×20 文字)

.....: これ以下は記入しないこと .....

※受理月日	月	日	※受験番号	
-------	---	---	-------	--